

令和7年9月 岩手県教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 令和7年9月16日(火) 午後1時30分

閉会 令和7年9月16日(火) 午後1時55分

2 開催場所

県庁10階 教育委員室

3 教育長及び出席委員

佐藤 一 男 教育長

新妻 二 男 委員

宇部 容 子 委員

小野寺 明 美 委員

泉 悟 委員

山口 研 介 委員

4 説明等のため出席した職員

松村教育局長兼首席サービス管理監、駒込教育次長兼学校教育室長

黒澤教育企画推進監兼サービス管理監、佐々木義務教育課長、亀山高校教育課長、西川高校改革課長、

中村保健体育課総括課長

教育企画室：安倍主事、大森主事（記録）

5 会議の概要

第1 会期決定の件

本日より決定

第2 事務報告1 令和8年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜の概要について（学校教育室）

別添事務報告により説明

小野寺委員：令和6年度から英語の適性検査が導入されていますが、2年間の適性検査の結果についてどのように分析しているのか、また、今後の方向性について教えてください。

佐々木義務教育課長：英語力そのものではなく、適性検査の文脈の中で英語の力を問う形になっておりまして、児童がこれまで身につけてきた国際的な感覚や英語に関する興味が見られるところです。

宇部委員：1-7 追検査方法の(5)で、適性検査Ⅲは作文のみとありますが、追検査では放送を聞いて答える問題は実施しないということですか。

佐々木義務教育課長：放送の問題は実施しません。また、この内容は非公表となります。

第3 事務報告2 第49回全国高等学校総合文化祭の結果について（学校教育室）

別添事務報告により説明

第4 事務報告3 今後の県立高校に関する地域検討会議（第2回）及び意見交換会（第1回）の開催結果（速報）について（学校教育室）

別添事務報告により説明

小野寺委員：地域の方のシビアな意見が出ていると感じました。出席した所感を教えてください。

西川高校改革課長：今回の再編計画の中に今後学級減等が予想される見込みの時期を書かせていただきましたが、やはり地域でも一部しか高校の志願者数がわからない状況はまずいと思います。今後少子化が進む中で、地元の方々にも高校が今どんな状況にあるのか、特色化、魅力化も含めて、情報を積極

的に公開していくことが必要ではないかと感じました。

小野寺委員：高校の改革については、統合等が公表されてから初めて大変なことだと気づいて、慌てて措置してほしいと要望を出すという流れを何年も繰り返している気がするので、常に今どういう状況なのか発信していかなければと思います。

新妻委員：Ⅲその他の開催状況について、下橋中学校が事情で中止になったという話に関わって、全体を見ると、同窓会やPTA、あるいは市町村が主催したいという雰囲気だと思いますが、下橋中学校としては、将来の子どもたちの進路を考えるにあたって参考にしたいという思いで企画されたと捉えてよろしいでしょうか。

西川高校改革課長：下橋中学校につきましては、修学旅行に向けた保護者説明会の中で、盛岡地区の状況などをお話していただきたいと事前に説明がありました。

新妻委員：参加対象として考えられているのは保護者ですか。

西川高校改革課長：そのとおりです。

第5 事務報告 4 令和7年度全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の結果について（保健体育課）

別添事務報告により説明

新妻委員：2点お伺いします。1点目は全中の大会の場合、どういう仕組みで全国大会出場になるのでしょうか。例えば県で優勝したら基本的に全国大会ということになるのか、競技によっては東北ブロックみたいなものがあるのか。高校との違いも何かあればあわせて教えてください。

もう1点は相撲の寺田道場のような地域クラブについて、全中だけでなく岩手県の中体連の大会でもそういったクラブチームが出てくることが想定されますが、複数の中学校で形成しているチームと、中学校単位のチームが同列で競技に参加する仕組みは今後あり得るのでしょうか。例えば高校野球では、1つの学校でチームを形成できず何校か合同になっているところがありますが、そういった形のものと同等に地域クラブ活動は取り扱われるのか。現時点で決まっていることはあまりないと思いますが、今後の見込みやどんな考えがあるか、もし知っていたら教えてください。

中村保健体育課総括課長：全国中学校体育大会への出場についてですが、県で勝ち抜いて、東北大会に進み、東北大会で多くの枠があるので、そこに入れば全国中学体育大会に出場となります。インターハイについては、競技にもよりますが、県で優勝したチームがそのまま出場というケースが多いところです。

新妻委員：中学校は東北ブロックの大会があり、東北ブロックの中の出場枠に入れば全国大会に出場するので、各県代表という意味ではないんですね。わかりました。

中村保健体育課総括課長：地域クラブチームと部活動のバランスについてですが、単独の学校だけでチームが組めないという状況がありますので、県中学校体育連盟では、合同チームでの出場を認めています。日本中体連でもそうですが、今後合同チームだけでなく地域クラブ活動についても、出場を認めていきたいと思いますという流れになっています。

新妻委員：中学校の子どもたちが集まって形成する地域クラブのチーム、部活動の一環ではあるものの1つの学校ではチームを形成できず複数校で出場するチーム、単独の中学校で出場するチームと、いろいろなパターンがあり得ることは既に想定されていて、現に認めている部分もあり、中体連もそういう形になるだろうということですね。

中村保健体育課総括課長：中体連については既にその流れになっています。

新妻委員：運動して、音楽等もそうですが、学校単位ではない表彰というのも当然出てくることを想定せざるを得ないですね。いずれそういう流れになっているということで、わかりました。

会議結果の公表は、教育長に一任することとして議決された。